

視察研修報告

関川水系土地改良区と 農事組合法人「高野生産組合」



7月30日、農業委員会による上越市の関川水系土地改良区の視察研修を行いました。

同改良区は、平成18年に6つの土地改良区の合併により組織された巨大な改良区です。受益面積は約5843haとその規模に圧倒されています。

水源は、昭和46年に造成された笹ヶ峰ダム（有効貯水量920万t）と信濃町の野尻湖（977万t）を農業用水として用いていることです。



ドローンを自動操縦

不足の悩みはどこも同じようです。

当日は、農事組合法人「高野生産組合」の代表と従業員も同席されており、法人立ち上げの経緯や基盤整備後の取り組み等の話をお聞きすることができました。

高野地区は、昭和38年から39年に基盤整備がされ、当時は30ha区画と飯山市と同規模での区画整備がされましたが、後に効率を高めるため大区画水田に再整備されました。

現地にて4・2haの大区画水田を案内いただいた際は、ドローンによる追肥作業が行われていました。

肥料を80kg積載できる大型ドローンで10haあたり6kgを散布します。コントローラーによる自動操縦で、途



全ほ場にある自動給水栓システム

中で肥料が切れても自ら積み込み場所に戻り、積み込み後は途切れた場所から再度散布を始めるそうです。

また、自動給水栓システムを全ほ場に97台設置し、スマートフォン1台で給水を行うことができるため、職員2名ですべての水を管理しているとのことでした。

「米どころ新潟」でも悩みは同じようで、農業者の高齢化・離農・土地持ち非農家が増す中、少人数でいかに効率よく作業を行い地域の農地を維持管理するか、検討を重ねた結果の結論が「法人化と基盤整備」に結びついたとのことでした。

ほ場が広くなり、農道や水路の整備による水の確保がされることで国が推奨するスマート農業の導入が



スマートフォンで実際に操作

容易になり、作業の省力化や効率化に繋がることは間違いありません。

一方、高野生産組合代表からは、「なかなか役員の為の手がないんですよ。」と、また従業員の方は、「これだけ作業条件が良くなっても新たに従業員として入って来る人がいないんですよ。」と話され、基盤整備事業はあくまで手段であり、整備後の組織の在り方こそが如何に大事であるかを考えさせられました。

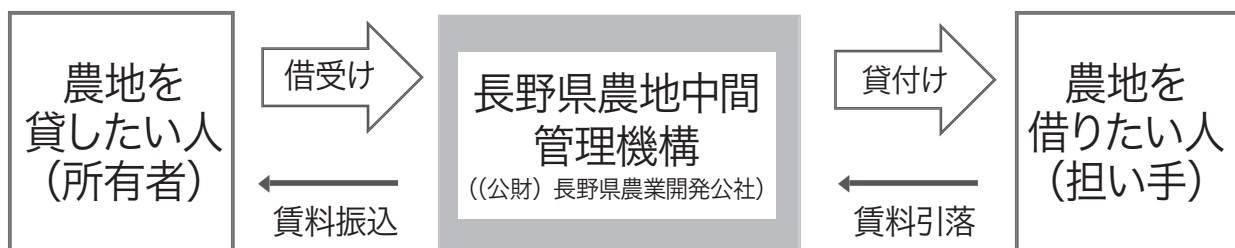
飯山市においても、地域計画による各地区農業再生センターでの話し合いがされる中、いくつかの地域では再ほ場整備の検討がされており、大きな転換期であることに疑う余地はありません。

大規模区画化するか否かは別として、水田として守るべきか、あるいは畑地へと転換すべきか等、次の世代が引き受け易い条件整備は今まさに必要であると考えさせられた視察研修となりました。（清水 勝）

農地中間管理事業で 農地の貸借を検討してみませんか？

◆農地中間管理事業とは◆

公的機関である農地中間管理機構が農地の中間的な受け皿となり、所有者から農地を借り受け、耕作を希望する農家（担い手）に貸し付ける制度です。



農地を貸したい人のメリット

- 安心して農地を貸すことができます
- 賃料は確実に受け取ることができます
- 期間満了後の更新手続きも簡単です

農地を借りたい人のメリット

- 経営規模の拡大や集約ができます
- 賃借料の支払い事務は、機構が行います
- 期間満了後の更新手続きも簡単です

お問い合わせ 農業政策課農業振興係・農業委員会事務局 TEL 0269-67-0729

8月25日、「第24回北信州農村女性のつどい」が栄村役場かたくりホールで開催されました。この日は、女性農業者を中心に150人以上が参加し、「地域がつなぐ受け継がれる農と暮らし」に基づいたテーマによる事例発表が行われました。

「秋山郷とマタギ」では、マタギの伝統を伝え、共生の精神があるからこそマタギは文化として今に続いていると話し、「ねこつぐら」では、製作に適したわらの確保のための掛けの必要性や、村民との交流・農作業など村の生活に触れ、「米作りとともに伝統技術を次世代につなごう」と抱負を語られ、「森宮野原駅食堂」では、2022年



「北信州農村女性のつどい」に参加

に駅ナカにうどん屋『ふきのとう』を開店し、全国から多くの客が訪ねてくる繁盛店になったが、一方で地元村民の利用には交通の便が課題ということが報告されました。どの話も新鮮で興味深く、関心を惹きつけられる内容でした。

その後のディスカッションでは交流の輪も広がり、また、フリーマーケットには17の店舗の多彩な品揃えに話が弾みました。昼食時にはみんなで駅食堂『ふきのとう』を訪ね、名物うどんと盛りだくさんの総菜を楽しみ、有意義な時間となりました。（石田 慶子）

あしあと 7・8月の活動記録

7月10日	農業委員会役員会
27日	7月農業委員会総会
〃	情報委員会
〃	農業振興・農政対策委員会
30日	管内視察
8月5日	農業委員会役員会
25日	北信州農村女性のつどい
26日	8月農業委員会総会